
鳥島散弾銃少佐の憂鬱

宇治宮王子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鳥島散弾銃少佐の憂鬱

【Nコード】

N97810

【作者名】

宇治宮王子

【あらすじ】

鳥島散弾銃少佐直属の兵士である拙者はコンビニエンスストアにナポリタンとオニオンスープを買いに行った。そこで起こった事件は拙者の生き様を変えた。果たしてその事件の真相とは……！

鳥島散弾銃少佐の注文でナポリタンスパゲティとオニオンスープを
駅前のコンビニエンスストアで買った。

「合計七百七十円でえす、クジー一枚引いてくだっしゃーい」

と若干ダルそうな声で言うアルバイトの「たけなか」殿。

「たけなか」ってどういう漢字？どういう感じ？って別にたけなか
さんに絡みたい訳じゃないんだけど、気になると昼も夜も眠れない
性分な拙者は満を持して聞いてみた。

「たけなか殿ってどういう」 「クジー一枚引いてくだっしゃーい」

拙者の質問は彼方に葬られた、やりおるなこ奴。

気がつけば拙者の後ろから「さっさとクジ引けこの野郎」と云わん
ばかりの行列が出来ていた。

拙者は案外空気を読める男である、ここは好奇心を捨て身を引こう
ではないか。

ハハハ拙者今夜は眠れなそうだが、罪なアルバイターだ、パートタ
イムジョバーだ畜生。

そろそろ殴られそうだったので、音無しくクジを引くことにした、
拙者は空気を読める男である。

右手に拙者の魂と鳥島散弾銃少佐の魂を込めた。

そして直角90度、箱貫かんばかりのスピードと勢いでクジを引い
た。たけなかさんは引いていた。

「お、おめでとうございます…お客様は第2のクジを引く権利を
得ましたあ…」

「やりましたね、たけなか殿」

そう言つて握手を迫つた拙者の右手には次のクジ箱がセツトアップされていた。

たけなか殿…、なんて仕事の早い奴だ…、授業中ダルそうにしながらも試験ではしれつと学年トップをとるタイプだ…。

さてさて今度は右手に道島管三郎大尉と江ノ島蛇彦中尉とピチヨロン卑猥太准将の魂でも込めようかのう。

みな歴戦を戦い抜いてきた名兵だからのう、一等賞間違いなしじゃ、うへへへ。

拙者が勝利を確信した笑みに溺れておると後ろの客に膝カツクンされたので、

さつさとクジを引くことにした、拙者は空気を読める男である。

「ぬわををををををつをん！！！」

拙者の叫びが店内中に広がった、いやこれは道島管三郎大尉、江ノ音蛇彦中尉、以下略の魂の叫びであった。

二秒後店内は乳首針金山の朝焼けのように静まりかえった、田舎>>こきょうくくを思い出した。

しかし今は郷愁に浸っている場合ではないのだ…、乳首を立たせている場合ではないのだ！

そう意気込み、拙者は右手を天高く伸ばし、勝利の雄叫びを上げた。
「ビクトリイイイツイイイイイイイイ！！！！！！」 「残念です、ハズレです」

「あ、はい」「お買い上げあじゃじゃしたー」

落胆した、自身の情け無さ、名兵たちの魂を無下にしたことと落胆した。

「拙者は…帰ってくるぞ…」

そう漏らしてドアを開けると、けたたましい程度のベルが鳴った。

「おめーとごじやいやっすー、1等でえす」

なんと！拙者の後ろに並んでいた男が1等賞を獲得しとるではないか。

その男は下品に尿溢れるピチヨロン卑猥太准将、左手に商品のマグカップを持ち、右手はピースサインをしていた。

負けた…、いや仕方がない。

ピチヨロン卑猥太准将は気がつけばいつも拙者の先にいる、そういう男だ、いや漢>>おとこくくだ…。

「追いついてこい」

そう言つとピチヨロン卑猥太准将はトイレに直行した、なるほどそれで拙者を急かしていたのか…！！

「追いついてやりますよ」

拙者はトイレに向かつて叫んだ、そしてここから三ヶ月にもおよぶ悪夢にも似た修行の旅がはじまる……………。

一方その頃、鳥島散弾銃少佐は空腹で憂鬱だった。おしまい。

（後書き）

ミニストップでクジを引いたあと、煙草を吸いながら考えた迷作です。よろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9781o/>

鳥島散弾銃少佐の憂鬱

2010年11月18日05時09分発行